子育てサークルの役割と
子育ての意識について
ー子育てサークルでの調査からー

安藤ゼミ　14460044　浅越安侑美

はじめに

・同じ地域で同じように子育てをしている他の母親たちと関わることのできる子育てサークル

→子育てをする母親にとって貴重な場である。

・子育てサークルは、母親が孤立感に陥ることを防ぐとともに、子どもにとっても家族以外の世界を知る良い機会となる（岡野他，2011）。

では、子育てサークルに参加したことによって、具体的に母親にはどのような効果が得られているのだろうか

実際に、母親にとって子育てサークルに参加することは重要なのだろうか

目的

・母親たちの子育てについて探るとともに、子育てサークルに参加して得られたことなどを具体的に明らかにする。

・子育てサークルが母親たちにとってどのような役割を成しているのか検討する。

調査概要

〈調査期間〉

2017年7月～9月

〈対象者〉

奈良市内の子育てサークル「ちっちゃいもんくらぶ」「ハグハグ」「ジャンボ」「どんぐり広場」「ばんび」に参加している母親58人（回答数：58、有効回答数：52）

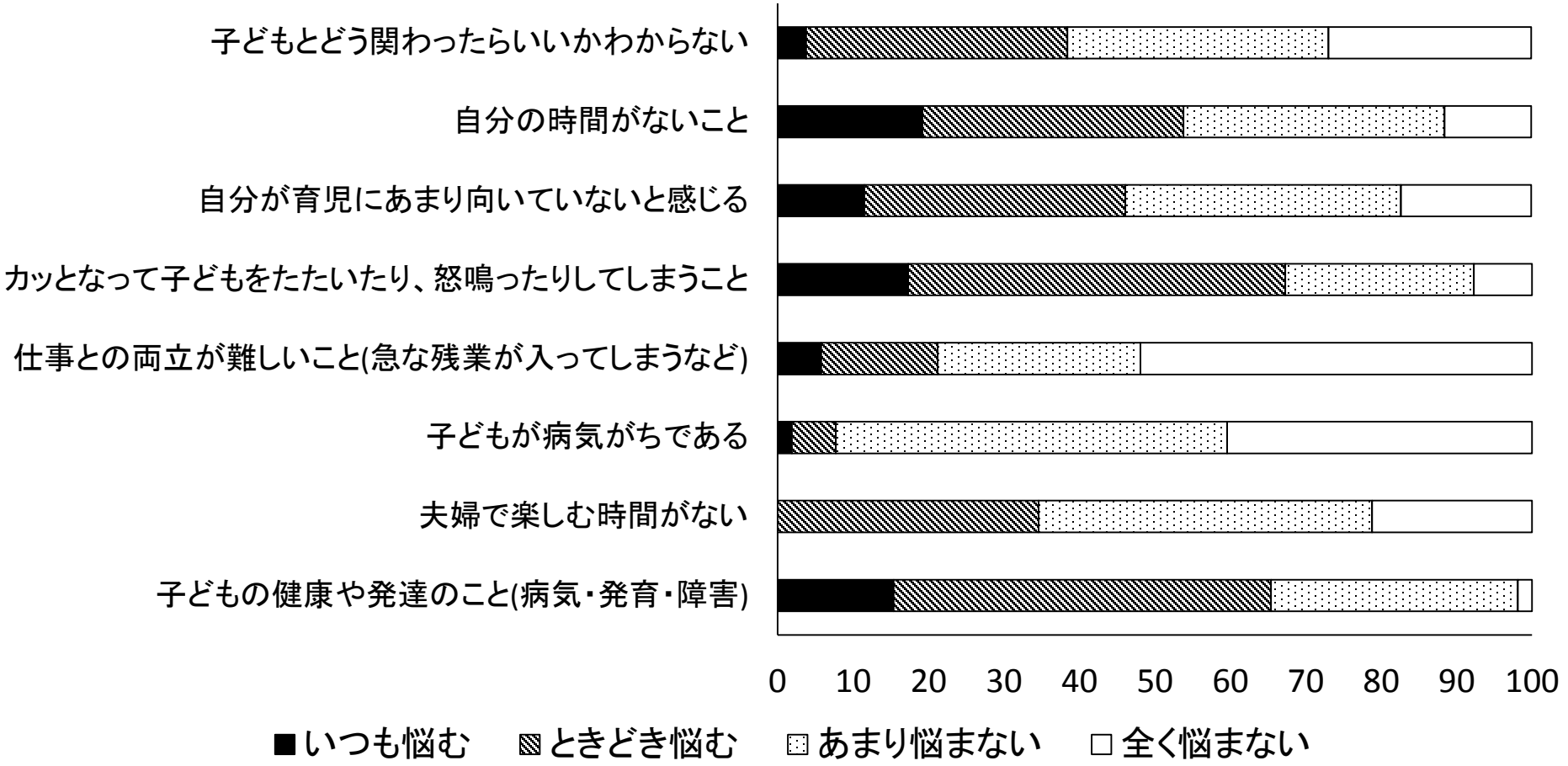
〈調査方法〉

質問紙調査

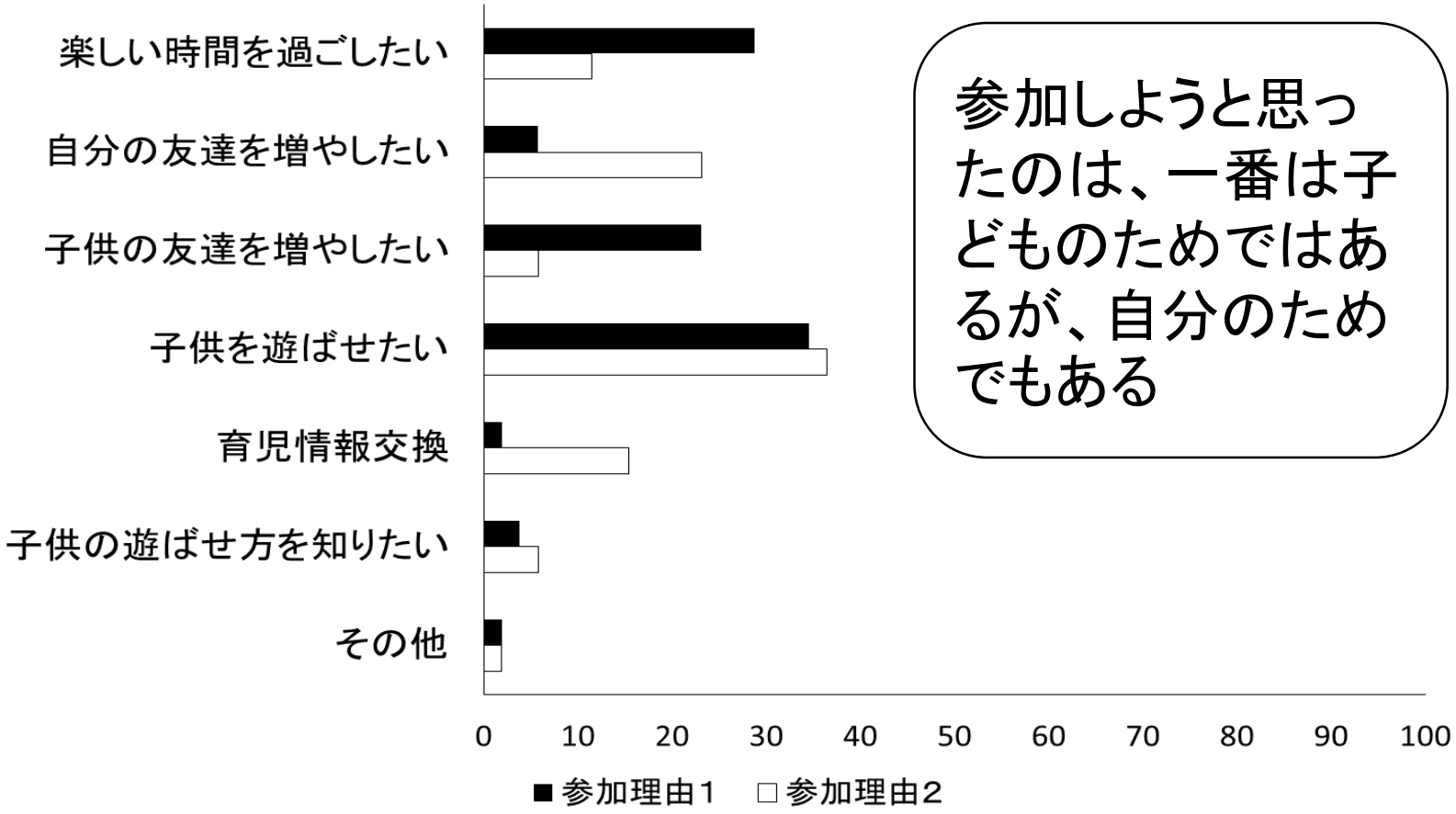
対象者：2ヶ月～1.5歳の子供とその親
活動日：毎月第1月曜日
10時～11時半
活動内容：毎回講師を招き、親子での遊び。11時半以降は、おやつを食べながら自由な時間。

対象者：1.5歳以上の未就園児とその親
活動日：毎月第2月曜日　10時～11時半
活動内容：講師を招いて親子で体操や体験、行事のイベント（ハロウィンなど）も楽しめる。

結果1　子育ての悩み

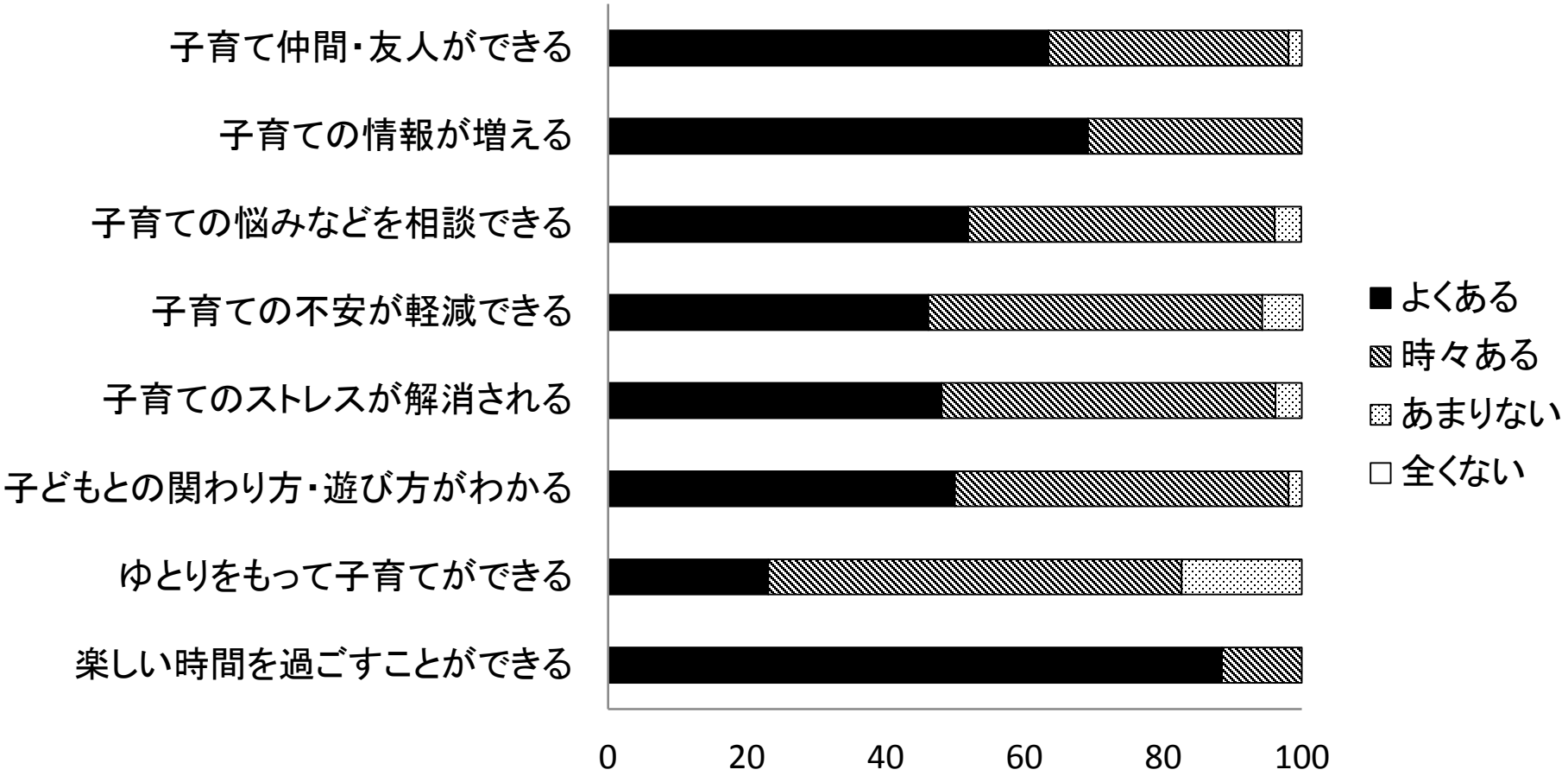

子どもとどう関わったらいいかわからない
自分の時間がないこと
自分が育児にあまり向いていないと感じる
カッとなって子どもをたたいたり、怒鳴ったりしてしまうこと
仕事との両立が難しいこと(急な残業が入ってしまうなど)
子どもが病気がちである
夫婦で楽しむ時間がない
子どもの健康や発達のこと(病気・発育・障害)
0
10
20
30
40
50
60
70
80
90
100
■いつも悩む
▧ときどき悩む
⬚あまり悩まない
□全く悩まない

結果２　子育てサークルに参加した理由



参加しようと思ったのは、一番は子どものためではあるが、自分のためでもある

結果３　母親への子育てサークルの効果



結果４　サークルによる違い

・母親が運営している子育てサークル（ジャンボ、ばんび、どんぐり広場）

〇母親たちの絆が強く、親子共に仲が良い

△サークル運営をすべて自分たちでやらなければならない

・スタッフが運営している子育てサークル（ちっちゃいもんくらぶ、ハグハグ）

△母親たちの絆が強いとは言えない

〇スタッフが子どもを見てくれるため、母親は自由

考察

・母親たちにとって子育てサークルが自分たちの居場所となっていることがわかった。

→子育てサークルの目的や機能を果たしている

・子育てサークルに参加することは、母親たちの心強さや安心につながっていると考えられる。

子育てサークルの重要さ

考察

・子どもが楽しく遊べる環境を作るためには、まずは母親自身が楽しい時間を過ごすことが大事ではないだろうか。

・母親が運営している子育てサークル、スタッフが運営している子育てサークル、どちらにもメリットデメリットがある。

→自分に合った子育てサークルを見つけること自体が、母親が外に出向くことへの第一歩につながるのではないか。

ご清聴ありがとうございました。